

市川市議会では、年4回の各定例会で、会派（結成には3人以上の議員が必要）ごとに市長提出議案等その他市政全般について問う代表質問を行います。6・9・12月定例会における各会派の発言時間は、原則3日間の総会議時間を、会派数及び会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、各会派が指定した項目の質問・答弁を要約して掲載しました。
 ※6月定例会の代表質問は6月2日に通告を締め切り、6月11日から3日間の日程で行いました。
 ※代表質問を行った各会派の所属議員は、代表質問実施時点のものとしています。

代表質問



市川駅に設置されたホームドア（JR東日本千葉支社 提供）

社会福祉法人の指導監査

問 本市では社会福祉法人の指導監査を行っているが、その中に市長や市議会議員等の特定の公職者が理事長に就任している例はあるか。
答 本市では、一法人につき3年に1回、国の要綱やガイドラインに基づき一般監査を実施している。監査対象となる法人の中には特定の公職者が理事長に就任している例はある。そのよ

中山 幸紀
 細田 伸一
 加藤 圭一
 青山ひろかず

創生市川・自民党第2



市立小学校の学級数の

問 本市では、市立小学校の児童数減少が見込まれており、学校運営に影響を及ぼすものと考えられる。規模の小さな学校では、児童一人ひとりにきめ細やかな指導ができる等のメリットがある反面、児童一人当たりのコストが高くなる等のデメリットもある。そこで、国や市が定めている公立学校における適正な学級数に関する基準の内容を問う。
答 国が平成27年1月に策定した公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引では、学校規模の適正化に関し、クラス替えの可否の観点から、小学校で6学級以下、中学校で3学級

このため、この基準に該当し、指摘をした例はない。



市立小学校における授業の様子

未来市川

竹内 清海
 国松ひろき
 堀内しんご
 ほとだゆうな
 大久保たかし



ホームドアの整備状況

問 令和6年はJR本八幡駅に、7年6月は市川駅の各駅停車のホームにホームドアが設置されたとのことである。市民の安心安全のため、市内全ての路線にホ

ームドアを早期に設置して欲しいと考えるが、今後の整備計画について問う。
答 妙典駅の1番線と2番線ホームは7年6月下旬に使用開始を予定しており、3番線と4番線ホームは設置時期を調整中で、行徳駅は両ホーム共に同年7月下旬に使用開始予定とのこと

障がい者等の歯科診療

問 かねてより、障がい者等を対象とした歯科診療所の開設について要望してい

である。また、鬼越駅は9年度に設置完了を予定しており、市川真間駅は7年度から設置工事に着手する予定とのことである。原中山駅や京成八幡駅などについては、現時点で公表できる情報はないとのことである。市川駅快速線ホームの設置時期は未定とのことだが、東日本旅客鉄道株式会社は13年度末頃までに、東京圏主要路線の整備完了を目指すとしているため、早期整備を要望していく。

医療的ケア者等への対応

問 近年、医療的ケア者等は増加してきているが、行徳地区では医療的ケア者等に対応可能な生活介護事業所が著しく不足している。そこで、本市は、行徳地区にある市有地の活用を視野に入れ、当該事業所開設の可能性を探るためのサウン

中町 けい
 石崎ひでゆき
 つちや正順

市民クラブ



ディング型市場調査を令和6年11月に実施し、2事業者から提案を受けたとのことである。当該調査の結果概要を見ると、今後の方針として、当該調査で得た提案や意見を参考に、市有地貸付に係る公募の是非を検討する旨が示されているが、公募に向けた検討状況と今後のスケジュールを問う。
答 令和7年3月現在、医療的ケア者等の受け入れが

致の可能性を探るため、6年に当該市場調査を実施したものである。申し込みのあった2事業者からは、医療的ケア者等の受け入れが可能な生活介護を中心に、その他の障害福祉サービスと一体的に事業を実施することは可能であるとの提案を受けたことから、7年3月に事業者誘致について庁内合意を得たところである。今後は、意見交換会等の実施、公募要領の作成等の後、7年度中に公募により事業者を決定し、9年度中の事業開始を目指している。



福栄4丁目にあるサウンディング型市場調査の対象用地

たが、令和7年6月定例会において、本診療所の開設に係る議案が提出された。そこで、診療を開始する時期及び診療所に設置する資機材の詳細を問う。また、事業開始後もしっかりと検証し、毎年同様の枠組みではなく、予算の増減や、医師の拡充などを検討して欲しいが、今後について市はどのように考えているか。

答 診療は7年12月から開始する予定であり、障がい者等の診療にも対応可能な歯科診療台やパノラマレントゲン、笑気麻酔関連機器などの必要な資機材について、検証を行っていく。ま

た、同様の事業を実施している他市の事例では、開以降、利用者が増えていく傾向にあることから、本市においても、開設以降の診療状況や稼働率について、検証を行っていく。